

科目名 Course Name	茶道				ナンバリング No.	A2-003	
年次	1年次	期別	後期	単位数	1	授業形態	演習
担当者氏名	荒井佳子(茶名 宗佳)						
連絡先(質問等)	授業時間内かメールで対応						
必修/選択	選択						
関連 DP	DP2 DP4						
授業の概要と到達目標	茶道の基礎知識(歴史、茶の心等)及び実技(点前・作法)を、演習を通して習得する。 ① 盆略点前、客の作法等が出来るようにする。 ② 実技を通して礼儀や美しい立ち居振る舞い、おもてなしのコミュニケーション能力等、社会人としての基本を身につけることができる。 ③ 茶道の基本精神である四規七則を、説明出来るようにする。 ④ 茶花や和菓子や茶道具などの四季の変化を、五感で体感し説明できるようにする。 ⑤ 天命釜(佐野市)について知識を得ることができる。						
授業の方法	① 講義(講義)と実技(茶室)を行う。 ② 茶道の歴史、基礎知識、茶の心については講義にて解説します。 ③ 実技は反復稽古し模擬茶会を体験します。 ④ 授業時間外に事前事後学習をすること。						
学習成果	L01						
	L02	点前、客の作法を学んで、対人関係(礼儀作法)や(おもてなしや感謝の心)等、基本的態度を習得することができる。					
	L03						
	L04						
課題に対するフィードバック							
教科書/参考図書	教科書:裏千家茶道(裏千家今日庵発行)						
履修上の留意点やルール等	実技を伴うため、緊張感を持ち教科書や帛紗セットを準備する。 遅刻や欠席をせず、服装を整えて、私語は慎む。 飲食は禁止。 事前事後学習の時間は各回45分程度とする						
担当教員の実務経験	茶道裏千家 特別師範(正教授) 実務経験(茶道師範 37年) 科目名(茶道) 茶道の実践である茶事、茶会、親子茶道体験、マナー教室等の多用な経験を授業に生かす。						

成績評価の方法と基準					
評価の領域	評価基準	学習成果の割合			
		L01	L02	L03	L04
授業参加態度	欠席や遅刻をせず、茶道に関心を持ち、積極的に取り組む。質問に的確にこたえる。 与えられたテーマについて仲間の意見を聞き考えを述べる。	20			
レポート/作品	課題が指定されたとおりで内容が的確か。期限内に提出されているか。	20			
発表					
小テスト					
試験	実技試験、筆記試験ともに30%の配転。	60			
その他					
合 計		100			

回数		授業計画
1	授業内容	ガイダンス、概要説明 茶道の基礎
	事前・事後学習	あいさつ、正座の稽古
2	授業内容	茶の心について 実技一茶席の入り方・和菓子、お茶の頂き方
	事前・事後学習	四規についてまとめる
3	授業内容	茶道具の説明、利休七則について 実技一割稽古 お茶・お菓子の運び方
	事前・事後学習	利休七則、割稽古の復習
4	授業内容	茶席について、 実技一割稽古
	事前・事後学習	実技の復習
5	授業内容	茶花、花入れについて 実技一盆略点前、客の作法
	事前・事後学習	実技の復習
6	授業内容	茶席の菓子について 実技一盆略点前、
	事前・事後学習	実技の復習、和菓子について調べる
7	授業内容	炭について 実技一盆略点前、
	事前・事後学習	実技の復習
8	授業内容	天命釜についての講話—天命鋳師 若林秀真師 実技—主、客の作法
	事前・事後学習	天命釜についてレポート作成
9	授業内容	利休道歌に学ぶ 実技一盆略点前、
	事前・事後学習	実技の復習
10	授業内容	茶の歴史① 実技一盆略点前、客の作法
	事前・事後学習	実技の復習
11	授業内容	茶の歴史② 実技一盆略点前、半東の役割
	事前・事後学習	実技の復習
12	授業内容	茶陶について 実技一盆略点前、
	事前・事後学習	茶等について調べる 実技の復習
13	授業内容	香について 実技一点前の形を整える
	事前・事後学習	実技の復習
14	授業内容	茶事について 実技一通し稽古
	事前・事後学習	茶会準備 レポート作成
15	授業内容	修了茶会—思いやりや感謝で心豊かに(分担して模擬茶会)
	事前・事後学習	茶会の反省